

経済トピックスと解説

NY原油上昇、132ドル台 連日の最高値

5月22日（日経朝刊）

21日のニューヨーク原油先物相場は一時、初めて1バレル132ドル台に上昇し、連日で過去最高値を更新した。中国の四川大地震で水力発電が停止し、火力発電所向けのディーゼル消費が増えるとの見方が台頭した。

《解説》・・・原油価格はなぜ上昇するのでしょうか？

原油価格（右図参照）は、昨年の始め（07年1月）1バレル50ドル付近でした。それが1年半で3倍近い140ドルに迫ろうとしています。今回は、原油価格上昇の背景や今後の見通しを考えてみたいと思います。

原油価格上昇の理由は大きく分けて二つ。まず第一には中国やインドなどの巨大新興国の経済発展による需要の増加です。二点目は世界の余剰資金が投機的に流入しているためです。

二点目の余剰資金流入について見てみます。世界にたぶついている余剰資金がどこから来ているかというと、まず、米国の慢性的な経常収支の赤字によるものが挙げられます。貿易赤字を支払ったドルが、各国に外貨準備資金として溜まっています。

二つ目は、サブプライム問題の勃発で欧米政府が金融市場に潤沢に供給した流動性資金¹⁾です。

さらに、原油の高騰により潤沢となったオイルマネーです。この一部が原油に向けられ価格をさらに押し上げています。

世界の余剰資金が何故原油などに向かうのかというと、米国経済が不況となり、ドル安、米国株安、さらに米国金利が大幅に引き下げられ、米国への投資の妙味が大きく失われたためです。またサブプライム問題の発端となった証券化²⁾のようによく内容がわからない投資対象が敬遠され、その反動としてわかりやすい商品に魅力が増したためです。このために原油のみならず穀物、鉱物などコモディティーといわれる商品市場で軒並み価格が上昇しています。

すなわち、原油価格の上昇は、巨大新興国の発展や証券化のバブル崩壊という今までに世界が経験したことのない新しい経済現象によって起こっていることなのです。

従って、今回の原油価格上昇が根本的に解決するためには、新たな経済システムによる世界経済の再構築が必要です。たとえば、証券化の価値決定メカニズムの構築や各金融機関の評価基準の透明化などです。すなわち信用に基づく証券化が投資家から見て分かりやすく、その投資判断基準を見えるようにする必要があります。これができると投資家は（世界の余剰資金は）証券化に資金を戻します。すると今は暴落状態にある証券化の値が戻り、金融機関を中心とした企業の業績が戻り、原油価格は（その他の商品価格も）正常化し、株価も戻って世界経済は次の発展に向かう準備を整えることになるものと考えられます。

ところで、余剰資金の投機による異常な原油価格上昇が取り除かれれば、原油は70ドル近辺に落ち着くものと考えられます。この水準はサブプライム前のレベルといえます。この付近の原油価格帯で



も、今のような代替エネルギーの開発や省エネ活動が継続するのかが注目されるところです。一方で地球温暖化という大きな問題が存在していることを忘れることはできません。今回の異常ともいえる原油高は、世界に（人類に）いずれ地球上から原油が枯渇するという警告を（誰かが）発しているような気がします。“のど元を過ぎては熱さを忘れず”、今のうちにクリーンな代替エネルギーを開発することや省エネ技術を充実させることが大切ではないでしょうか。

1) 流動性資金：現金や預金のようにいつでも好きな時に使うことのできる資金

2) 証券化：住宅ローンなどの債権（お金を貸している側の権利）を他の金融機関や投資家に買ってもらうために作り出した証券。今はサブプライムローン（住宅ローンの一部）ばかりでなく、不動産の賃貸権などいろいろな債権や権利が証券化されて多くの投資家に買われています。

株式状況と解説

世界的に株価が低迷しています。前の章で触れたように原油価格や鉱物資源さらには穀物など食料品の値が上がっており、今後、世界的なインフレは避けられないところです。景気の上昇を伴わないインフレはスタグフレーションと言われ、とても悪い経済状態です。物価が需給以外の要因で上昇すると、サラリーマンの給料は上がらず、事業者は売り上げが落ちて、庶民の懐は苦しくなります。その結果消費が落ち込み、売上がさらに落ちて企業は利益を上げられません。ますます不況は進みます。

今回の世界的な不況の底は、そんなに深くはないと考えられますが、長期化しそうです。今年いっぱいはいはっきりしない、ぐずぐずした状況が続くのではないのでしょうか。しかし、過去の何度もの不況がそうであったように、対策が進み前述した新しい世界経済システムが再構築されれば、世界経済は秩序を取り戻し一挙に上昇に向かうものと考えられます。それは、いつでしょう、来年の初めから前半でしょうか。楽しみに待つことといたしましょう。

なお、この記述は株式等の売買をお勧めするものではありません。売買の判断はご本人でなさってください。

お知らせ

次回セミナーのお知らせ

✽ファイナンシャル・プランナーが提案 笑顔で相続するポイント✽

日時：6月21日（土曜日） 10：00より11：45

場所：つくば国際会議場 401号（4階）

参加費：無料（皆様に聴いていただきたいために無料とします）

予約制：Tel、Fax、Eメール、ホームページなどでご予約下さい



セミナー風景 06年3月

今後のイベントのお知らせ

7月13日（日）、14日（月）に特別個別相談会を行います。

資産運用、保険見直し、住宅ローンなど家計上の個別相談を受け付けます。

8組限定です。

参加費 1,000 円、予約して日時の確認をしてください。

皆様の来訪をお待ちしています。

以上

このレポートの記述は、株式、保険等の売買を推奨するものではありません。株式、保険等の売買は自己の責任において行って下さるようお願いいたします。

ご意見、不明点など御座いましたらお気軽に連絡下さい。 なお複写、転載はご遠慮下さい。

発行人：スズタカ FP オフィス 代表 鈴木隆志 茨城県つくば市東新井4-2メゾンヴェールつくば612号

Tel、Fax：029-861-0778 携帯：090-4423-9147 E-mail：suzu@suzutaka.org URL：http://www.suzutaka.org